

滋賀県レイカディア大学 同窓会

甲賀・湖南支部だより

第17号 H28年1月1日発行 発行責任者 レイカディア大学同窓会 甲賀・湖南支部 支部長 橋本 元夫

【主な内容】

巻頭言 心、豊かに日々送れることを目標に	スポレク	30期	前田 松栄 (P2)
活動記録			
甲南町陶芸ボランティア活動について	陶芸	27期	小林 龍朔(P3)
私のボランティアガイド	地文	31期	高山 雅史(P4)
同好会活動			
岩尾山ハイキングの報告	スポ	28期	菊本 洋三(P5)
支部からのお知らせ			
本部主催地域活動事例発表会の傍聴	園芸	23期	橋本 元夫(P6)
趣味の作品展開催	陶芸	28期	植西 偉文(P7)
新入会員歓迎会開催	地文	31期	森井 幸三(P8)
トヨタ自動車・トヨタ館を訪れる	園芸	33期	木村 文一(P9)
本部主催 第16回親善GG大会	陶芸	28期	植西 偉文(P11)
編集後記	生活	31期	奥田 直子(P11)

あけましておめでとうございます



本年もよろしくお祈いします

元旦



巻頭言

心、豊かに日々送れることを目標に

30期 前田 松栄

還暦を過ぎ第二の人生を歩みはじめ10年以上経った今、ふと振り返って思うことは、人はだれでも一人ひとり歩んできた歴史がありますが、大まかには子育ての時期、家族のため一生懸命働いた時期、こうした時期は大体の人は同じ思いで頑張ってきたはずで

す。60歳を迎えたあとは今までの経験から思いや、夢を持ちそれぞれ違った目標に向かって歩いておられるんだろうと感じています。例えば趣味や旅行等のんびりすごしている人、趣味を超えて本格的に匠になっている人、まだまだ余力が有りそのまま仕事を続けている人、自然の中で農作業、畑仕事に精を出している人、健康に力を入れている人、ボランティアや地域活動に貢献している人等々残った人生を十分輝かせるための道を歩まれているんだと感じています。

私も定年後3年間仕事を続けその間レイ大・スポレク学科で学ばせてもらいました。学んだ知識が思う様にいかされず、今では足腰の痛みを感じ加齢のせいになっているものの、多分運動不足が、今の状態に繋がっているのだろうと自覚しています。

昔から健康には自信をもっていたところ、スポレク学科の授業で体力測定を行った結果、実年齢より体力年齢が上であったことに、ショックを受け、在学中は、よく放課後、近くの文化ゾーンにウォーキングをして筋力アップに励んでいました。卒業後は、小さなことでも何か貢献できればとボランティア活動や、地域の役などに関わり運動から遠ざかっていて、その数年の間に筋力の低下をきたしたのではと自己判断をしています。

滋賀県の女性の平均寿命が全国12位であるのに健康寿命は全国最下位であり、その差13歳もあり、言い換えれば13年の間、介護のお世話にならなければならない事になります。しかも高齢者介護施設が全国で一番少ない県とされている中でやはり今後、健康に対する意識を高め出来る限り介護を受けずに日々過ごせる様に、今更ながら改めて健康に力を入れている人の仲間入りをする事になりました。体操教室に入りG・Gも始め、ノルディックウォーキングもはじめました。どこまで出来るかわからないが第二の人生が、楽しく充実したものにするため精一杯頑張っ



活動記録

甲南町陶芸ボランティア活動について

陶芸 27期 小林 龍朔

平成16年甲南町陶友会に仕事の先輩に誘われ入会、翌年、レイカディア大学陶芸学科入学そして卒業後、当町にはボランティア陶芸が無いので、作業場である甲南町ふれあいの館より親子陶芸教室のお話を頂いた。学校で学んだ還元奉仕の精神で、実行にあたるべく会の有志と実行。会館は広報にて掲載頂いたのが今日のボランティアの始まりです。



以後、地区老人会、おたっしやクラブ、親子陶芸、地区公民館への出前陶芸等で毎年の行事として、又文化祭展示物作りに協力し当会を利用して頂いています。

今年度は、竜法師・深川市場・塩野・ニューポリス・市原の各おたっしや広場、親子陶芸教室、サマースクール陶芸、希望ヶ丘手芸部からご利用いただいています。作陶乾燥～素焼き～色付け～本焼き～引き渡しと工程があり、この工程に約2か月かかります。

陶芸25期 飯田誠太郎さんの協力を頂いています。飯田さんは、他にも会館の甲南町の古い民芸具、のこぎり、農機具等を学校の郊外授業として教え、ふれあい会館主催の注連縄、布ぞうり、竹とんぼ、水鉄砲等を作るボランティアとして活躍しておられます。

甲南町陶芸ボランティア活動は、この陶友会が母体となり参加者の人数に合わせた応援者を出してもらっています。

これからも陶友会の方々と陶芸を通じて子供さん、親、一般の方々に土遊びの面白さ、世界で一つしかない焼きものの作りを体験し、眺め、使って頂き、より陶芸に親しんでもらえるボランティア活動に取り組みたいと思います。



私のボランティアガイド

地文 31期 高山 雅史

私は現在湖南省観光協会に所属する「あゆむ」という名の観光ボランティアガイド団体でボランティアガイドをしています。どのようなことをしているところかといえば、個人が自主的に参加して各自がガイドをしている団体です。

高齢化社会が進むにつれて各人が自分のしたいことを実現するためにいろいろ学習し、知識を吸収した人との会話を通じた出会いを楽しむというような要望に合わせて各地にボランティアガイドが生まれました。行政側、観光事業関連業者の観光客を増やしたいというニーズにも一致したといえます。

私のガイドをしている範囲は湖南省を3つの地区に分けてそれぞれに案内コースを設定しています。

- ① 石部宿を中心として湖南三山の長寿寺、常楽寺、湖南省歴史民俗資料館
- ② 十二坊（菩提寺山）周辺の菩提禅寺、西応寺
- ③ 三雲城址周辺の妙感寺、横田の渡し、天保義民碑

ボランティアガイドは元々善意によるものなので、本職のビジネスに基づくガイドとのすみわけはあります。しかし地方ではガイド専門の人がほとんどおられないという事情もあり、ガイド本人は自分の趣味でもある歴史知識の向上と人との出会いを楽しむという要素が強いので、すみわけを意識せずガイドに集中出来ています。

自分の地域を来訪者に紹介するというのには多くの人に喜んでもらえるという出会いの楽



しさを増やしてくれます。

ガイドの活動はコースのほとんどが徒歩によるものなので、2～3時間（1～2 km）から5～6時間（10～12 km）までガイドの体力に応じてやっています。

来訪者の中でもウォーキング主体で東海道五十三次の宿場を歩いている方などは年齢に関係なくみなさん非常に元気で、こちらがパワーをもらうくらいです。

ガイド側も研修等で学習はしているのですが、インターネットの普及で案内地域の知識に詳しい人も多く、ほとんど道案内だけの人もおられます。

また来訪者グループの中には80歳代の方で2～3時間の歩行が限界という人もおられて、30～50人の団体の場合は歩くペースの設定が難しいということもあります。

今のボランティアガイドを続けていられるのは出会いを通じて湖南省を知ってもらえることと、同時にこちらの気の付かなかったことを教えもらえること、また多少湖南省紹介の要望を入れるにしてもビジネス的な義務感がないので自分のペースで出来て、歩きながら新緑から紅葉まで四季を感じられるなど、このガイドをしていればこそその充実感があります。

もし興味をお持ちでしたら一度我々のガイドに同行して一緒に楽しんでいただけたらと思っています。

同好会活動

岩尾山ハイキングの報告

スポ28期 菊本 洋三

午前10時にフレンドマート甲南駐車場に集まったのは会員4名と山崎さん（女性）が誘ってくださった二人が来られたおかげで6人があつまりました。

プララ～成田牧場～杉谷新田～岩尾池～息障寺、まさに三重県との県境界にある、数年前から住職がおられない無人寺まで車で上がりました。

鐘楼の横から急こう配の石段をのぼりはじめて、左手に小さな磨岩仏が祀られていましたがちらっとみて登るの

に必死でした。100段くらいあったのかな、手すりがあったので助かりました。四国八十八か所を模した修行参拝コースに入り2体、4体と道沿いに小さな石仏が点在する、曲がりくねった、起伏のある歩道でした。垂直に切り立った8メートルくらいの岩壁に磨岩仏が快



晴の秋の光にてらされて、特に顔の部分がよく見え、ありがたい気持ちになりました。その岩の上から鎌ヶ岳が遠望でき解放感に満たされました。

尾山の山頂で記念写真を撮り休憩のお菓子を食べ、1時間半くらいの歩行で境内まで戻り、陽だまりで楽しくおしゃべりしながらの弁当でした。

移動して、岩尾池の周囲を散策。県百本の銘木に選ばれた千年杉があると高山さんがインターネットで調べられたので探そうと、杉林をかき分けうろつき、池のほとりの見事な老木を見つけました。背丈は十五メートルくらいで、雷に打たれたような焦げ目があり、杉らしくない大きな枝が茂っています。幹をたたけば半分近くは朽ちているようなボンボンと鈍い音でした。三人がかりほどの太い幹でした。

今度は看板があるはずだと道路に出て探しあて看板を見つけて大喜び！そこから見える緑濃く生き生きと茂り、池のほとりに突き出た千年杉の姿の良さに大感激しました。午後三時前に集合場所まで戻り負け惜しみじゃないけどこのくらい的人数でよかったねと大満足の散策でした。



支部からのお知らせ

本部主催地域活動事例発表会

「水口細工の復興活動について（スポレク22期 橋本 黄市）」の紹介

園芸 23期 橋本 元夫

去る11月18日に近江八幡市「ひまわり館」で標記の発表会があり参加しました。当支部からは水口地区の橋本黄市氏（22期スポレク）が「水口細工の復興活動について」をテーマとし発表されました。発表の概要は、江戸時代以前から生活の糧としてフジ細工（小物入れ籠等）が盛んに作られていましたが昭和45年に伝承者「平井たつ」様がなくなられ伝承者が途絶えました。そこで再び復興させることをめざして平成12年7月に水口公民館を拠点として町内の有志によりグループを立ち上げられました。その後、学術指導者・文献等により研鑽と試作を積み重ね、15年かけて やっと皆に見てもらえる製品が作れるところまでたどりつかれました。その過程における貴重な活動内容をパワーポイント画面で細部にわたり説明されました。また





甲賀伝統文化活性化実行委員会のご協力を得てパンフレット「幻の水口細工、その復活にかける一世界が称賛した藤細工の美が蘇る一」を100部 参加者に配布いたしました。参加者一同「高レベルで今までにないスバラシイ発表だった」と高い評価を受けました。

詳細は支部通信2号参照 又はレイ大本部ホームページを検索してください。

趣味の作品展開催

陶芸 28期 植西 偉文

H27年度趣味の作品展を、10月8、9日の両日水口中央公民館において開催しました。

19名の皆様から51点の力作が出展され、その中で34期園芸 浦田好造様手作りのスピーカーから流れる音楽が、会場に和やかな雰囲気醸し出し、来場された69名の方々に楽しんで、ご覧いただけた事と思います。

今回出展頂いた皆様に紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。



【出展いただいた作品】

学部・期	住所	氏名	品目・点数
陶芸・ 28	石部	木村 栄子	陶芸・灯り、壺 2
生活科学・21	石部	大西 幸	書・ 掛軸 1
陶芸・ 28	水口	植西 偉文	陶芸・茶碗・ 4
陶芸・ 26	水口	中村 秀	陶芸・花入、水差 5
園芸A・ 34	水口	浦田 好造	スピーカー・ 1
スポレク・24	水口	井代 一枝	写真(祈りと出会い)1式
地域文化・34	水口	西川 重義	絵手紙・ 1式

健レク・ 3 4	土山	松井 和子	パッチワーク・ 8
スポレク・ 3 0	土山	前田 松栄	手芸・ 2
スポレク・ 2 8	甲南	菊本 洋三	陶芸・風車 3
陶芸・ 2 7	甲南	小林 龍朔	陶芸・菊 1 0
陶芸・ 2 6	甲南	鶴田 章則	陶芸・壺、花入 2
陶芸・ 3 0	甲賀	藤岡 茂樹	絵画・三井寺 1
文芸・ 2 0	甲賀	奥嶋 寛	書・漢詩 3
文芸・ 1 7	信楽	城 宏衛	書・自由詩 1
陶芸・ 2 5	甲南	飯田 清太郎	陶器 2
園芸・ 2 2	甲南	田中 清一	絵画・ 1
生活科学・ 2 7	甲南	田中 米子	絵画・ 1
生活科学・ 3 1	甲南	奥本 静子	写真・ 2

新入会員歓迎会開催

地文 31期 森井 幸三



平成 27 年 10 月 8 日(木)午前 10 時より水口中央公民館において、新入会員歓迎会を開催しました。今年の新入会員 11 名のうち 5 名が参加され、既存会員 22 名とともに懇親会が始まりました。レイカディア賛歌斉唱のあと、新入会員からレイカディア大学入学の動機や活動等の報告を受けました。既存会員も現在のボランティア活動等を含めた自己紹介で応え、和気あいあいの雰囲気では進んでいきました。支部長より支部活動の説明あと、アト



ラクシオンとして、当同窓会会員で琵琶の師範でもある明智旭心氏(31期 地域文化学科卒)による「琵琶の演奏と語り〜戦艦 大和〜」が公演されました。普段あまり見聞きしない琵琶の演奏と語り、戦艦大和の最後の姿が思い浮かぶようで、参加者一同聞き惚れていました。

昼食後、隣の部屋で開催している当支部による趣味の作品展を見学して解散となりました。

トヨタ自動車・トヨタ館を訪れる

園芸 33期 木村 文一

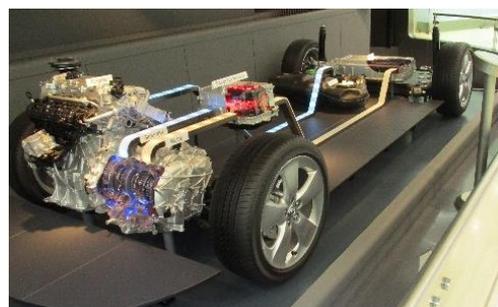


今年度の研修旅行は11月26日に30名の参加をいただきトヨタ会館を訪れました。

旅行当日は前夜の雨も上がり愛知県に着く頃には薄日がさすまでに回復してきました。トヨタ会館はトヨタ自動車(株)の企業博物館ですので朝早くから小学生をはじめ各種団体の方、個人的な方等多数の皆様でにぎわっていました。館内のツアーは専任スタッフにより5つのブースを丁寧に案内いただきました。環境と感動のブースではハイブリッドカーの進化をはじめ究極のエコカー開発への多面的な取り組みについて説明がありました。安全のブースでは衝突や予防安全のため事故を起こさない車の実現を目指したトヨタの取り組みが展示説明されていました。品質と効率のブースでは30,000点に及ぶ部品から組み立てる車をトヨタ生産方式により高品質な車づくりの紹介がありました。企業と社会のブースではトヨタの歴史や社会貢献活動が紹介されていました。モータースポーツのブースではラリーなどモータースポーツ活動の魅力楽しさが紹介されていました。ショールームではレクサスやミライ・プリウスPHV・マジェスタなど最新モデルがずらりと展示されていて多くの方がハンドルを握りまた後部座席に座り込んで乗り心地を楽しんでおられました。2階のクルマ教室では車の基本である走る・曲がる・止まるの仕組みが展示されていました。ミュージアムショップにはトヨタパートナーロボットのグッズ・プラモデル・ミニカー・菓子など自動車をテーマにしたさまざまな商品が、ところせましと並んでいて多くの方があれこれと品定めをしながら買い求めておられました。

10時45分からはロボットによるバイオリン演奏があり多くの方が見守る中「威風堂々」を見事に演奏しましたので皆様感動されていました。館内を見学して環境や安全など将来を見据えた取り組みやビジョンと関連技術を学ぶことが出来ました。10月29日から開催された東京モーターショーでは自動運転技術の開発により交通事故の減少や運転負担の軽減が期待される自動運転車が近い将来の実用化も視野に入ってきたと報道されています。車がますます進化していく事が期待されます。

トヨタ会館を後にして三河湾オレンジロードにさし



かかりますと道路の両側にはミカン畑が連なりミカンがたわわに実っていました。三谷温泉ホテル明山荘で昼食をとりその後蒲郡海鮮市場でショツピングを済ませて帰途につきました。帰りの車内ではビンゴゲームをして楽しく過ごしました。一日のあわただしい旅行でしたが有意義であったかと思えます。

参加いただきました皆様には大変なご協力を賜りありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

本部主催 第16回親善GG大会

陶芸 28期 植西 偉文

本部親善グラウンドゴルフ大会が9月17日(木)竜王町ドラゴンハットで催され、甲賀・湖南支部より12名の方が出場しました。今回は支部間交流を目的に昼食会が行われ、親善を深めて楽しい一日でした。尚支部の成績は残念ながら賞を逃しましたが、所期の成果をあげ無事終了しました。



編集後記

生活 31期 奥田 直子

新年あけましておめでとうございます。

「支部だより」も皆様の御協力のお蔭さまで第17号を発行することが出来ました。ありがとうございます。

昨年は、TPP交渉、COP21が開催、地球温暖化による大災害、汚染物質の飛来等私達の生活に関わるニュースが報道されました。また、日本ラグビーの歴史を変えたといわれる五郎丸歩のあの手の指の独特なポーズは一大ブームになりました。

そして、ノーベル医学生理学賞受賞の大村智氏、ノーベル物理学賞受賞の梶田隆章氏の朗報は日本の未来に明るい話題となりました。

今年も皆様にとって、健やかで明るい良い年になりますようお祈り申し上げますと共に、元気なご活躍を投稿下さいます様お願いいたします。

